

## ① 制度の概要

ディープテック・スタートアップの革新的な技術を、大企業等が調達・購買することで、両者の持続的な連携とエコシステムの活性化を目指します。本事業は、本格的な調達・購買に至る前の製品導入検証（PoPフェーズ）に焦点を当てた支援を行います。

「PoPフェーズ」では大きな社会的インパクト創出のための製品検証を支援し、さらに「GX\_PoPフェーズ」では、CO2排出削減と経済成長を両立するGX（グリーントランジション）を推進する製品検証を加速させることを目的としています。

## ② 支援内容

### □ PoPフェーズ（製品検証）

ディープテック・スタートアップの製品カスタマイズや導入検証を支援。

最大1億円

補助率2/3以内

### □ GX\_PoPフェーズ（GX製品検証）

CO2排出削減に資するイノベーション創出のための製品検証を支援。

最大1億円

補助率2/3以内

## ③ 対象となる事業・経費

### 【PoPフェーズ・GX\_PoPフェーズ共通】

- 経済産業省所管の鉱工業技術が対象（AI、IoT、クリーンテクノロジー等）。
- 具体的な技術シーズと、技術開発要素があることが想定される事業。
- 競争力強化のためのイノベーション創出に資するものであること。

### 【GX\_PoPフェーズのみ】

- CO2排出削減に向けた野心的な目標を掲げ、世界規模のカーボンニュートラル実現に資する事業であること。
- 非化石エネルギーの開発促進／エネルギー利用の高度化促進／CO2排出の抑制に係る事業。
- 補助対象経費は、機械装置等費／労務費／その他経費／委託・共同研究費。

## ④ 対象者

- 大企業等とスタートアップのコンソーシアム（両者）で申請すること。
- スタートアップの補助対象費用の自己負担額を大企業等が補填すること。
- スタートアップは未上場かつ原則として設立から20年以内の企業であること。
- 大企業等とスタートアップの間で初期購買趣意書等を取り交わしていること。

## △ 補足事項

- 要件を満たしても審査があり、必ずもらえるわけではありません。
- 公募から採択まで数か月かかる点にご注意ください。
- 原則、事業終了後の後払い（清算払い）です。

## ④ 採択率向上のポイント

- 「ラストワンマイル」を埋めるための製品検証・カスタマイズに焦点を絞る。
- 事業化（調達・購買等）達成に必要なコンソーシアムの能力を明確に示す。
- スタートアップの技術的な優位性や革新性を具体的なデータで示す。
- GX分野は定量的なCO2排出削減効果をGXに係る取組申告書で具体的に説明
- 大企業等はスタートアップに対し、事業目的に沿った伴走支援体制を構築・維持。

## ⑤ 戦略的分析

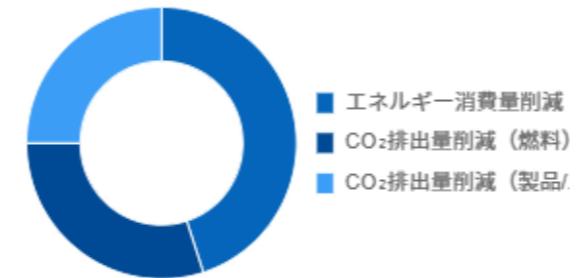
### 【コンソーシアムの重要性】

- 本事業は大企業とスタートアップの連携が必須要件となっている。
- 大企業側はスタートアップの自己負担分を補填する責任がある。
- 両者で「初期購買趣意書」等を取り交わし、調達・購買への意欲を示す。

### 【ディープテックの定義と範囲】

- ロボティクス、AI、クリーンテクノロジー、素材など幅広い分野が対象。
- 技術開発要素の少ない事業や、既存製品利用のみのものは対象外。
- 医薬品開発は原則対象外だが、医療機器や支援技術は補助対象となる。

## ⑥ 想定される研究テーマ



想定される研究開発分野の内訳  
エネルギー効率化とCO2排出削減が主要な関心分野となっている。

## ⑦ GX分野における活動事例

活動分野	代表的な取組例
非化石エネルギー	太陽光・風力・水素等の開発及び利用の促進
エネルギー利用	次世代リチウムイオン電池など革新素材の開発
高度化技術	省エネルギーに資する半導体やAIの開発
CO <sub>2</sub> 排出抑制	事業所等から排出されるCO <sub>2</sub> の排出抑制に係る事業

## ⑧ 専門家活用のススメ

- 小企業診断士：事業計画全体のブラッシュアップ
- 行政書士：各種申請書類の作成と手続き支援
- 技術コンサルタント：研究開発の技術的妥当性の検証

## ⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
申請書一式	<ul style="list-style-type: none"><li>補助事業を的確に遂行する能力を示す。</li><li>十分な経営的基礎を有することを証明する。</li></ul>
初期購買趣意書	<ul style="list-style-type: none"><li>大企業等とスタートアップの双方合意が必須。</li><li>「初期購買モデル契約書」の使用を想定。</li></ul>
財務諸表等	<ul style="list-style-type: none"><li>スタートアップの直近の財表等を提出。</li><li>売上高研究開発費割合が5%以上か確認。</li></ul>
GXに係る取組申告書	<ul style="list-style-type: none"><li>GX_PoPフェーズで必須（大企業等が提出）。</li><li>CO2排出削減効果を定量的に推計・算定し記載。</li></ul>

## ⑩ 申請スケジュール

### ● 事前準備

- 大企業等とスタートアップの連携・合意形成が重要。
- 初期購買趣意書等の準備に時間要する可能性がある。

### ● 申請期間

2025年12月10日～2026年1月9日

- 公募期間が短いため、計画的な申請準備が求められる。
- この期間内に必要書類の提出を完了させること。

### ● 審査期間

- 各締切後、数ヶ月程度を想定（公式サイトでご確認ください）。

### ● 採択結果通知

- 採択後、改めて交付申請を行い事業開始となります。
- 採択決定後、NEDOホームページで社名が公表される。

### ● 交付決定

- 事業期間は原則として交付決定後1年以内である。
- 事業終了後の追跡調査等への協力が求められる。

## ⑪ 問い合わせ

制度詳細	<a href="https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100501.html">https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100501.html</a> 詳細な手続きや公募要項は必ず制度詳細ページをご確認ください。
お問い合わせ	NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構） スタートアップ支援部 人材支援・オープンイノベーション促進チーム 担当：大企業調達事業事務局 ※お問い合わせは制度詳細ページよりお願いいたします。